様式第12号（第５条関係）

**身体障害者診断書・意見書**（　呼吸器　機能障害用）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  |  |  | 年 |  | 月 |  | 日生( |  | ）歳 | 男・女 |
| 住　所 |  |  |
| １ | 障害名（部位も明記） | 　 |
| ２ | 原因となった疾病・外傷名 |  | 交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、自然災害、疾病、先天性、その他（　　　　　） |
| ３ | 疾病・外傷発生年月日 |  |  | 年 | 月 |  | 日 | ・場所 | 　 |
| ４ | 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。） |
|  | 　 |
| 障害固定又は障害確定（推定）　　　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| ５ | 総合所見 |  |
|  |  |
| ６ | 将来再認定（障害程度の変化の見込み）　　　　　　　　　　　要（時期　　　　　　年　　　月）・　不 要 |
| ７ | その他参考となる合併症状 |
|  |  |
|  | 上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 |
|  |  | 令和 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |  |
|  |  | 病院又は診療所の名称 |  |
|  |  | 所在地 |  |
|  |  | 診療担当科名 |  | 科 | 医師氏名 |  |  |
|  | 身体障害者福祉法第15条第３項の意見　〔障害程度等級についても参考意見を記入すること。〕 |
|  | 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に |
|  |  | ・該当する。 | （ |  | 級相当） |  |  |
|  |  | ・該当しない。 |  |
| （注）１　障害名欄には現在起っている障害（両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等）を記入してください。２　原因となった疾病・外傷名欄には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。３　障害区分や等級決定のため、静岡市健康福祉審議会から改めて別紙1から別紙13までについて、問い合せする場合があります。 |

別紙8

　呼吸器の機能障害の状況及び所見

|  |
| --- |
| （該当するものを○で囲むこと。）１　身体計測　　　身長　　　　　 cm　　　　 体重　　　　　 kg２　活動能力の程度（１）激しい運動をした時だけ息切れがある。（２）平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。（３）息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道　　を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。（４）平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。（５）息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れが　　ある。３　胸部エックス線写真所見（　　　　年　　月　　日）（１）胸膜癒着　（無・軽度・中等度・高度）（２）気腫化　（無・軽度・中等度・高度）（３）線維化　（無・軽度・中等度・高度）（４）不透明肺　（無・軽度・中等度・高度）（５）胸郭変形　（無・軽度・中等度・高度）（６）心・縦隔の変形　（無・軽度・中等度・高度）　　　　　　 ４　換気機能（　　　　年　　月　　日）（１）予測肺活量 ．　　　L　　（実測肺活量　　　　．　　　L）（２）1秒量 ．　　　L　　（実測努力肺活量　　．　　　L）（３）予測肺活量１秒率　　　．　 ％　＝$\frac{（２）}{（１）}$×100　　（（１）については、下記の予測式を使用して算出すること。）　肺活量予測式（L）　　男性 0.045×身長(cm)－0.023×年齢(歳)－2.258　　女性 0.032×身長(cm)－0.018×年齢(歳)－1.178　　（予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例　　には使用しないこと。） |
| ５　動脈血ガス（　　　　年　　月　　日）（１）O2 分圧 ：　　　　 ．　　Torr（２）CO2分圧 ：　　　　 ．　　Torr（３）pH ：　 ．　　（４）採血から分析までに時間を要した場合 　　　 時間 　　　 分（５）耳だ血を用いた場合：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）６　その他の臨床所見 |